

Social. Mobile. Complete.

ORACLE CLOUD



ORACLE ERP Cloud

企業の成長と成功を担う最新のビジネス・プラットフォーム



ORACLE®

Oracle ERP Cloudのコンセプト

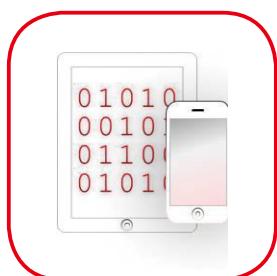
迅速かつ柔軟なシステムの構築や拡張を企業にもたらすクラウド。近年ではオンプレミスで導入・運用されてきたERPのクラウド化も進んでいます。数々のERPソリューションでビジネスの成長を支援してきたオラクルが提供するクラウドERPサービスが、「Oracle ERP Cloud」です。統合型スイートであるOracle ERP Cloudは、下に示す3つのコンセプトに基づき、多彩な機能セットと最新のテクノロジーの装備をはじめ、最適化されたクラウドへの移行支援により、お客様のビジネスの成長を大きく加速させます。

モダンビジネス



MODERN BUSINESS

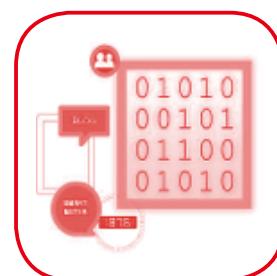
グローバル企業のベストプラクティスを実装するだけでなく、ユーザーの使い勝手を向上させリアルタイムの情報入力を促進、従業員から経営者までの皆が情報を利活用し成長できる仕組みが“モダンビジネス”です。



モバイル対応



ソーシャル機能



豊富なレポート



使い勝手の良いインターフェース

モダンクラウド



MODERN CLOUD

グローバル標準ビジネスプラクティスを核に、豊富な機能群から事業特性に合わせた設定を行うことで企業のオリジナリティを活かしたビジネスの新規立ち上げ／拡張を容易かつ迅速に実現します。

クラウドERP単独だけでなく、既存システムの強みを活かしクラウドとの組合せによるハイブリッド型の導入形態まで、自由度の高い連携性がビジネスの可能性を広げます。

クラウドの強みは高いセキュリティと可用性です。主要なクラウドベンダーが選択しているオラクルのクラウド基盤を自社のデータセンターで運用します。



Personalized. Connected. Secure.

クラウドの導入・移行



PRACTICAL PATH

クラウドERPのメリットを自社にとりこむための最適な手法も提供しています。ビジネステンプレートを活用し、確実なビジネスシステムの立上げと短期導入を支援します。また、システム環境を持たないことによりIT運用コストを大幅に削減することができます。



MODERN BUSINESS

モダンビジネス ~グローバル成長の仕組み~

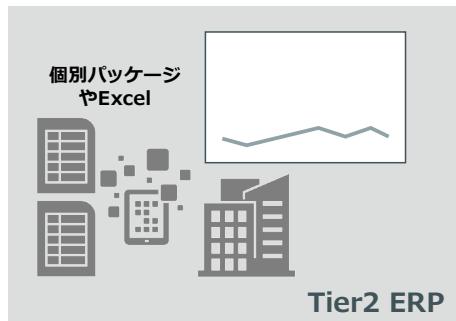
ビジネスをグローバルに成長させるモダンな仕組み

グローバル展開をステップアップさせるには統合的なERPシステムが必要です。

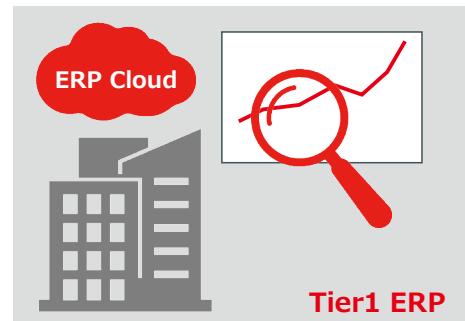
- グローバルに通用するプラクティスを実装していること
- 多様なビジネス形態に対応できるカスタマイズ性
- ビジネスをタイムリーに立ち上げ／拡大できる迅速性／拡張性
- 「グローバル戦略の立案／遂行」が行える総合的な可視化性

単に業務が遂行できる程度の
単機能パッケージやTier2
ERPでは限界があります。
ビジネスの拡大を目指すなら
ばTier1 ERPの選択がとても
重要と言えるでしょう。

BEFORE



AFTER



現状のビジネス規模に基づき、個別パッケージや機能が足りないERPを選択した場合、ビジネスの成長を促進させることは困難

機能が豊富なグローバルERPであれば、現状のビジネス規模からグローバルなビジネスの成長を達成することが可能に

モダンビジネスを実現するための課題と解決策

ビジネスやシステムの課題

Oracle ERP Cloudが もたらす解決策

ビジネスの情報を
リアルタイムに知りたい

モバイル



近年、急速に普及しているスマートフォンやスマートタブレットでも活用できるように設計。モバイルへの対応により、コラボレーション性が向上、移動中、外出中の従業員がいつでも情報にアクセスできるよう最適化

問題を解決するために
さまざまな部署の
関係者といますぐ、
連絡を取りたい

ソーシャル



エンタープライズ向けに設計された、組み込み型のソーシャル／コラボレーション機能を提供。業務アプリケーションに統合されたソーシャルを活用したリアルタイムコミュニケーションと業務効率化を実現

必要な情報をリアルタイムに
入れてもらうために
使い勝手の良いシステムを
提供したい

豊富な レポート機能



Excel上で、情報の切り口をダイナミックに切り替えながら、さまざまな角度からの分析を可能とするほか、事前定義されたデータモデルを活用することで、ノンプログラミングによる帳票作成も可能

入力作業を
簡素化したい

最新の ユーザ・ インターフェース



業務効率の向上に大きく影響するユーザーインターフェースには特に注力し、世界中でユーザー評価を実施し継続して、改善。1つの画面で必要な情報を網羅、作業の効率化を実現し、ユーザー体験を大幅に向上

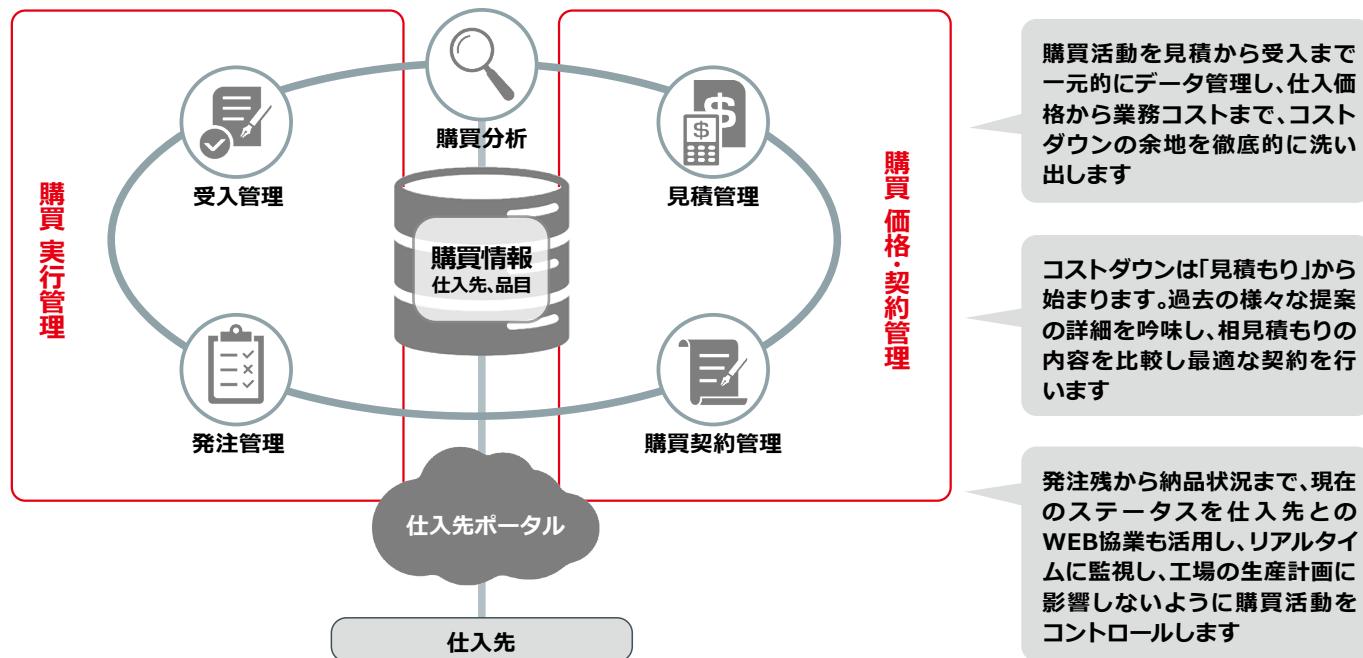
外出先からも情報に
アクセスしたい

グローバルビジネスに通用する
プロセスを手に入れたい

グローバルな購買活動で大きなコストダウンを実現！

Oracle Procurement Cloud

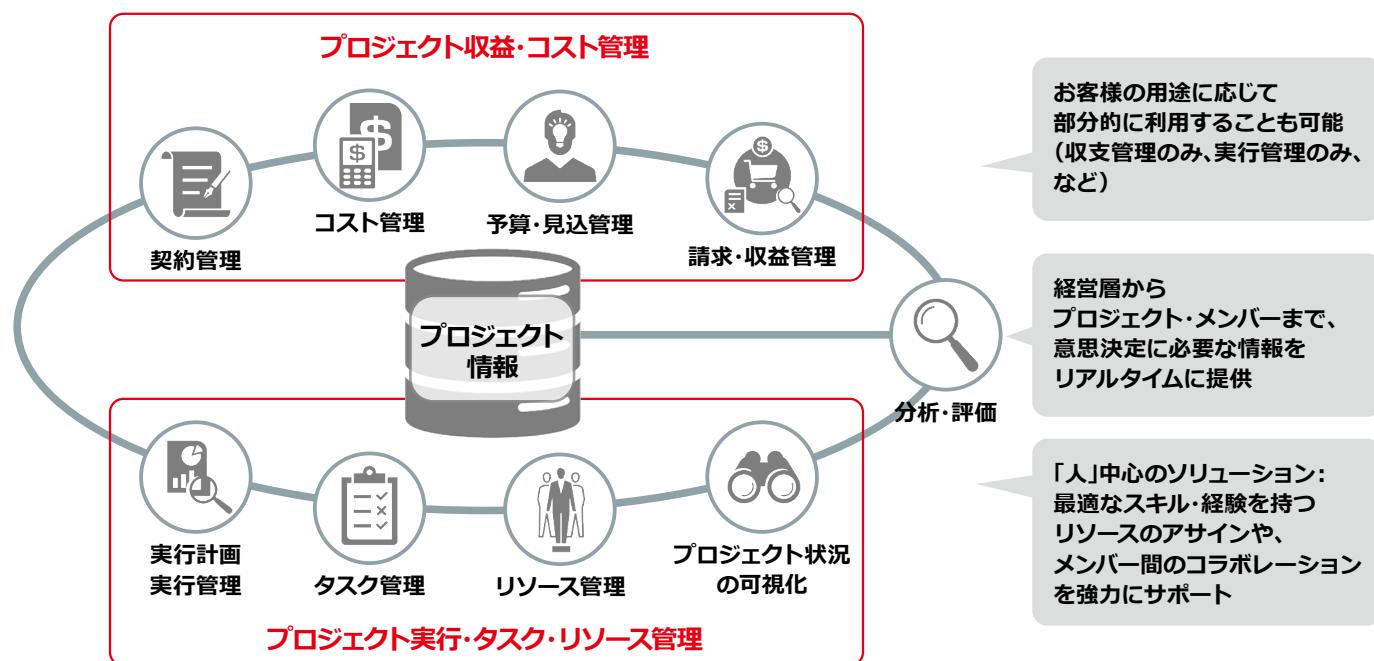
企業グループ全体での大きなコストダウン効果を目指す取り組みには、どこで誰がどこからどうやって購買するのが最適なのかを分析することが必要です。グローバルの購買実績データを一元的に集約し、見積り段階からのコストダウン活動と仕入先との密な協業体制が成果を結びます。



プロジェクトの収益性やリソース配分をグローバルに可視化！

Oracle Project Portfolio Management Cloud

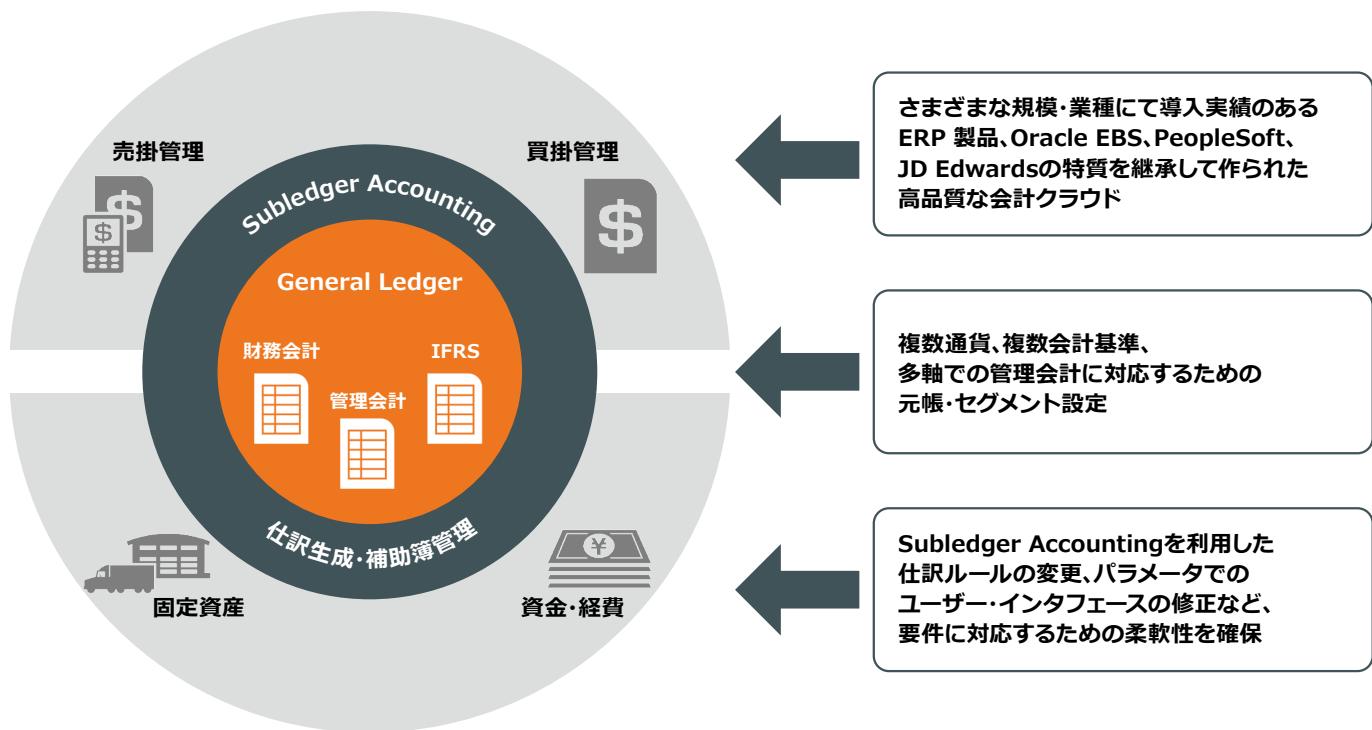
「Oracle Project Portfolio Management Cloud」は、グループ内の全てのプロジェクト活動を、財務的側面(収益／コスト)・スケジュール／進捗・リソースの3面から管理することができ、経営に対するインパクトを正確かつ早期に把握し対応することを可能にします。



会計業務全般をカバー、豊富なレポートと分析機能を提供！

Oracle Financials Cloud

Oracle Financials Cloudは、グローバル拠点で発生する債権から入金・債務から支払・日次処理から決算など、会計業務プロセス全般を高度な機能でカバーしています。内部で完全に会計データが統合されており、グループ全体の法人や拠点を跨がる取引の見える化が実現します。また、会計業務のシェアードサービス化も可能となり、これによりオペレーションコストの大幅な削減を見込むこともできます。



Business Intelligence: 組込み済みのレポート機能

Oracle ERP Cloudの大きな優位性として、Business Intelligence機能が予め組み込まれており、業務オペレーションで発生する様々な状況をリアルタイムに把握することができます。必要な情報をダッシュボードで確認したり、必要なデータを抽出しExcel上に展開することもできます。外部報告に必要な定型レポートやマネージメント層に必要な業務レポートなどを自分の作業環境に組込めるので、高い生産性が実現できます。またタブレット端末に対応しているのでいつでもどこからでも情報にアクセスすることができます。

The image shows two screenshots of the Hyperion Reporting software. The top screenshot displays a 'Financial Analysis' report with various financial metrics and a stacked bar chart titled 'Profit Trend by Cost Center'. The bottom screenshot shows a 'Smart View' dashboard featuring a grid of financial data, a bar chart for 'Quarterly Revenue', and a pie chart for 'Q1 1 Operations Overrun'.

OTBI
—ビジネス・インテリジェンス
グラフ・チャートや
経営ダッシュボードによる
マネージャ向けレポートを提供

タブレット・レポーティング
Sunburstなどの直感的な
ビジュアルレポートを
タブレットで提供

オラクルの主力分析ソリューションである
「Oracle BI」を組込み

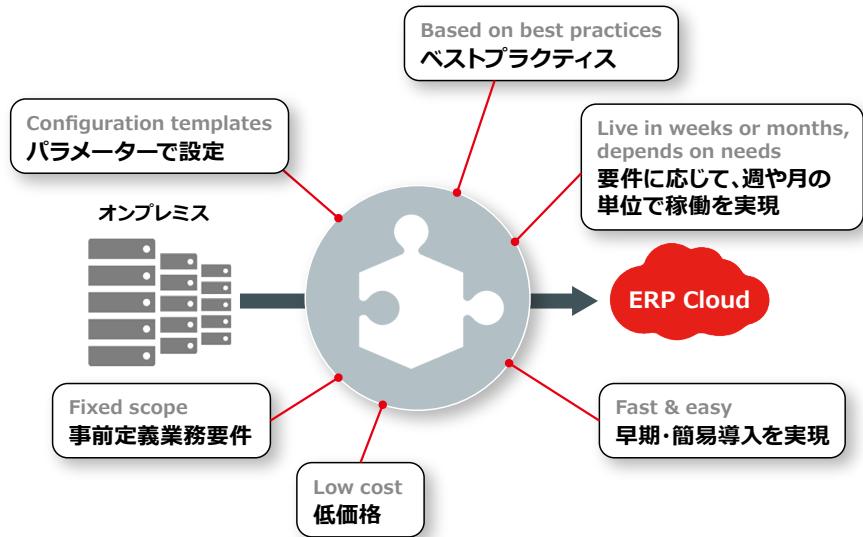


PRACTICAL PATH

クラウドの導入・移行

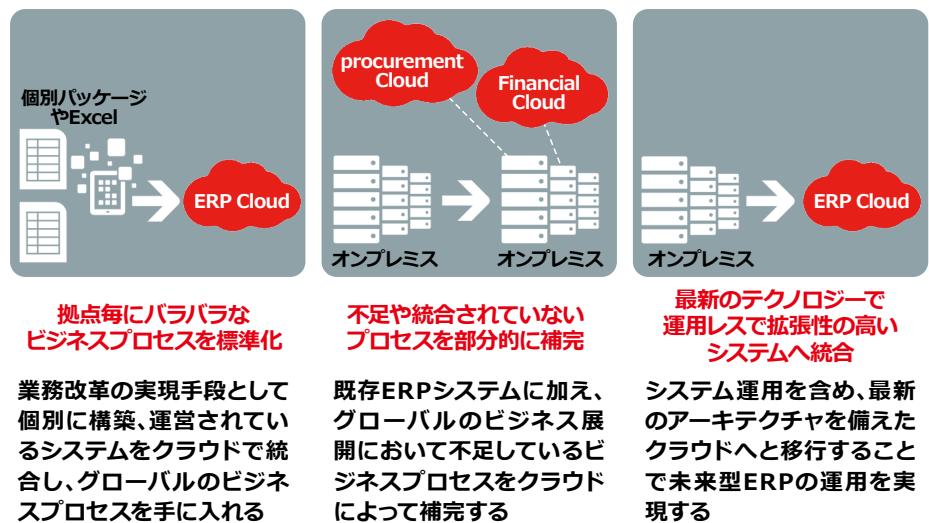
短期導入テンプレート

Oracle ERP Cloudの導入に際しては、テンプレートによるベストプラクティスでの早期導入を実現します。グローバルで標準的なビジネスモデルとプラクティスのご説明から始まり必要な設定を行います。プロジェクトのデザインから設定、検証、移行、運用に至る各フェーズにおいて、その最適な遂行を支援します。



ビジネスに合わせたクラウドへの移行

Oracle ERP Cloudは既存のビジネスを、最新のITを活用したモダンビジネスへと進化させることができます。ビジネスの現状に応じてオンプレミスとのハイブリッドや完全クラウド型まで、柔軟で即応可能な導入および運用ができます。

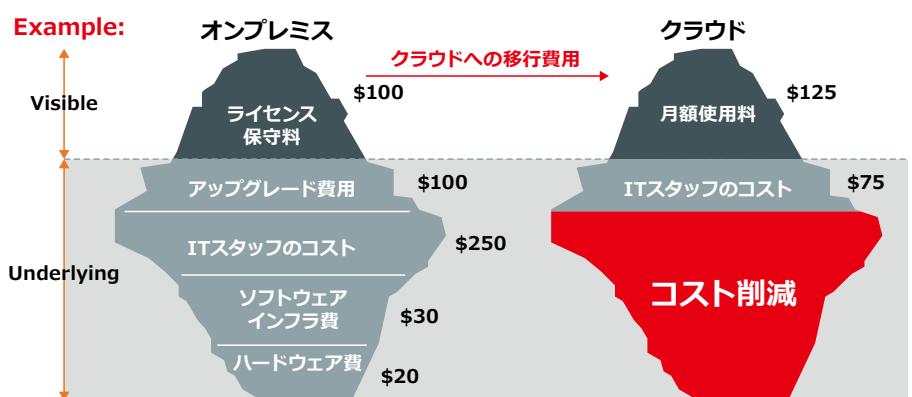


コスト削減の実現イメージ

クラウドに移行することで大幅なITコストが削減できます。オンプレミス型システムの運用と比較すると、インフラの運用保守や人員にまつわる費用、さらにはバージョンアップ費用といったコストを大幅に削減できます。

クラウドに移行することで、インフラの運用・保守、アップグレード費用を削減

Example:





モダンクラウド ~システム基盤の優位性~

MODERN CLOUD

企業の変化に対して機敏な対応ができるERP Cloud。モダンクラウドに求められるシステム要件は、異なるビジネス形態の違いを吸収する「パーソナライズ」、既存や必要なシステムと連携できる「システム間連携」、大切なデータを強固に守る[セキュリティ]です。

パーソナライズ：業種毎のビジネス特性の違いや地域性に対応

[グローバルビジネスでの考慮点]

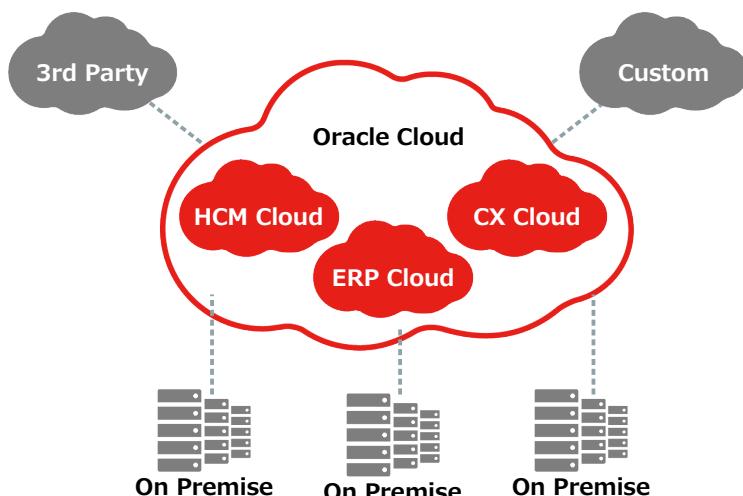
- 地域や国の商習慣や法制度への対応
- 海外拠点では異なるビジネスプロセスの事業を一拠点で担当するケース
- 商取引先が3国間に渡るケース

ERP Cloudは豊富な標準機能からパラメーター設定だけで様々なビジネスプロセスに対応することができます。さらに分析ダッシュボード画面やワークフローなどを従業員レベルでパーソナライズすることが可能なため、飛躍的に生産性を高めることができます。



システム間連携：既存の業務システムや他のクラウドなど連携容易

オラクルのクラウド環境にはオラクルの様々な業務アプリケーションが用意されており、これらを組み合わせて革新的で生産性の高いビジネスシステムを構築することができます。Web Serviceやファイルによる連携環境が用意されていますので、他のSaaSや既存のアプリケーションと連携し効率的に業務を遂行することができます。またオラクルはPaaS/IaaS環境も提供していますので、オラクルクラウド基盤上に構築したカスタムアプリケーションとの連携も容易です。



セキュリティ：オラクルクラウド基盤製品をベースに構築

世界の大半のクラウドベンダーが採用しているオラクルのクラウド基盤製品。その自慢は圧倒的なパフォーマンスと設計／改良から運用までを自社で行えることです。オラクルはお客様の近くに19のデータセンターを運営しています。

データプライバシーに関しては厳格なコンプライアンス・プラクティスのもとでセキュリティコントロールを実施しており確実にデータを保護します。

ERP Cloudは企業ごとに独立したシングルテナントで構築することで、他のクラウドサービスのようなデータベースの共有に伴うリスクを回避しています。

19 Data Centers Worldwide



Unified Access Controls



Isolated Data Tenancy



Oracle ERP Cloud モジュール群

財務会計管理

一般会計、売掛管理、買掛管理、経費精算、支払回収管理、会計レポーティング、文書管理(請求書等)

購買管理

購買管理(発注、受入)、見積管理、購買契約管理、仕入先ポータル、従業員セルフサービス、購買実績データ分析

プロジェクトポートフォリオ管理

プロジェクト実行計画・管理、プロジェクト予算予測管理、進捗状況管理、要員管理、コスト管理、契約管理、請求管理、勤務時間管理、パフォーマンスレポーティング、プロジェクト実績データ分析